

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 5 月 9 日

評価対象事業	評価者	選挙管理委員会事務局次長 渡邊 好二
選挙-01 選挙啓発事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課 選挙管理委員会事務局 関連課
総合計画上の位置付け	分野	市民自治
	施策の方針	市民自治

1 事業の目的

対象	市民
意図	有権者の政治意識の高揚を図るとともに、棄権防止、選挙違反の根絶を呼びかけるため。
効果	適正に選挙を執行する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・鎌倉市明るい選挙推進協議会と協働し、選挙時啓発及び平時の選挙啓発として市立中学校における模擬選挙を実施した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	48	当初予算(千円)	291	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	48	一般財源	291	
事業経費運営	人員配置数	1.0	人員配置数	0.8	
	人件費(千円)	7,707	人件費(千円)	7,181	
	総事業費(千円)	7,755	総事業費(千円)	7,472	
	市民1人当りの経費(円)	44	市民1人当りの経費(円)	42	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法廷受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 鎌倉市明るい選挙推進協議会
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 事業へ統合
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 投票年齢引き下げなど選挙制度の大変革があり、若年層に向けた啓発事業の重要性は高まっている。学校向け事業が軌道に乗ってきており、実施校を増やすためにも予算増は必要と考える。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・学校向けの出前授業は、学校側のニーズも高く、生徒を対象に実施した事後アンケートの結果も良好であり、引き続き実施していきたい。 ・明るい選挙推進協議会の事業についても、効果の見込めない事業の実施を取りやめ、活動の軸足を若年層の啓発に移すよう促すことにより、協議会活動も活性化した。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	明るい選挙推進協議会の会員の高齢化、会員数の減少、活動のマンネリ化	
課題解決のために行った平成27年度の取組	明るい選挙推進協議会の活動のマンネリ化については、出前事業など新たな取組をスタートし、実効性の低い事業を廃止することにより、一定程度解決ができたと考えている。 しかしながら会員の高齢化と会員数の減少は大きな課題として残っている	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	明るい選挙推進協議会の会員の高齢化、会員数の減少	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	市内中学校における出前授業(模擬選挙)実施校の拡充					単位	校	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	若年層の投票率の低下に歯止めをかけるため、将来の有権者に対し主権者教育を行う必要があると考えられるため。		
目標値	1	5	5	5	9	9				
実績値	1	5								
達成率	100.0%	100.0%								
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
目標値										
実績値										
達成率										
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
目標値										
実績値										
達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☒ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--